

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	国語	4	8

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東 書	1 5 三省堂	1 7 教 出	3 8 光 村
基礎・基本の 定着	<p>1 単元・教材の目標の示し方</p> <p>○目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の扉に、単元の目標を単元名として示している。 ・教材の終わりの「てびき」の部分に「言葉の力」として身に付ける資質・能力を示している。 ・教材の初めの「問いかけ」と終わりの「てびき」の部分に目標を示している。 <p>2 言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <p>○新出漢字の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・371字 ・脚注に行数、音訓を示している。 	<p>1 単元・教材の目標の示し方</p> <p>○目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の扉に、単元の目標を単元名として示している。 ・教材の終わりの「学びの道しるべ」の部分に「思考の方法」として、身に付ける資質・能力を示している。 ・教材の初めと、終わりの「学びの道しるべ」の部分に目標を示している。 <p>2 言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <p>○新出漢字の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・427字 ・脚注に行数と本文中の読みを示 	<p>1 単元・教材の目標の示し方</p> <p>○目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の扉に、課題を考えるためのキーワードと単元名を示している。 ・単元の扉の最後に、学びの振り返りとして、身に付ける資質・能力を示した「言葉の地図」を見るよう促している。 ・教材の初めに目標を示している。 <p>2 言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <p>○新出漢字の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・396字 ・新出漢字が出た行の真下の脚注 	<p>1 単元・教材の目標の示し方</p> <p>○目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の扉に、単元名と単元の目標を示している。 ・教材の終わりの「学習」の部分に「学習の窓」として、身に付ける資質・能力を示している。 ・教材の初めと終わりに目標を示している。 <p>2 言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <p>○新出漢字の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・390字 ・脚注に行数、音訓、本文中の読

発行者 観点	2 東 書	1 5 三省堂	1 7 教 出	3 8 光 村
	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に「新出漢字一覧」としてページ数、音訓、部首、画数、筆順、用例を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> している。 ・教材末にページ数、音訓、用例を示している。 ・巻末に「〇年生で学ぶ漢字字典」としてページ数、音訓、中学で学ばなくてもよい音訓、部首、画数、筆順、用例を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> に漢字のみを示し、本文中にルビがふってある。 ・教材末にページ数、音訓、用例を示している。 ・巻末に「〇年生で学習した漢字」としてページ数、音訓、中学校で学ばない読み、総画数、部首、部首を除いた画数、筆順、用例を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> みを示している。 ・教材末にページ数、音訓を示している。 ・巻末に「〇年生で学習した漢字」としてページ数、音訓、部首、画数、筆順、用例、慣用句・ことわざ・四字熟語などを示している。
基礎・基本の 定着	<p>○言語・文法の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語は「日本語探検」として、文法は「文法の窓」として単元の中で1～2ページ程度でまとめている。 ・巻末に、文法解説を17ページで示している。 <p>3 読書と情報の扱い方に関する事項</p> <p>○情報の扱い方に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、情報活用に関する単元を設定し、1作品を掲載している。 	<p>○言語・文法の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語は「言葉発見」として単元の中で1～4ページにまとめている。文法は「文法の窓」「語彙を豊かに」として単元の中で1ページにまとめている。 ・巻末に「文法のまとめ」として12ページで解説をしている。 <p>3 読書と情報の扱い方に関する事項</p> <p>○情報の扱い方に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、「情報に関係づける」という単元を設定し、資料を2つ掲載している。 	<p>○言語・文法の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語は「言葉の小窓」、文法は「文法の小窓」として、単元の中に1ページ程度でまとめている。 ・巻末の「言葉と文法」に、詳しい言語解説を7ページと文法解説を18ページで示している。 <p>3 読書と情報の扱い方に関する事項</p> <p>○情報の扱い方に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、「メディアと表現」を設定し、1学年は4つ、2・3学年は3つ掲載している。 	<p>○言語・文法の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語は「言葉」、文法は「文法への扉」として、単元の中や単元末に1～3ページ程度でまとめている。 ・巻末に、詳しい文法解説を17ページで示している。 <p>3 読書と情報の扱い方に関する事項</p> <p>○情報の扱い方に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、「情報社会を生きる」を設定し、教材を掲載している。 ・各学年とも、資料編の中に、情

発行者 観点	2 東 書	1 5 三省堂	1 7 教 出	3 8 光 村
	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、資料編に情報活用に係る教材を掲載している。著作権は1・2学年で扱っている。 <p>○読書単元の設定及び書籍紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書単元「読書への招待」3回を設定して3作品を掲載している。資料編に2作品を掲載している。 ・書籍紹介は、読書単元末の「読書案内」、資料編の「本の世界を楽しもう」に古典作品を掲載している。 ・学習の手引き中や脚注の「読書案内」。 ・書籍紹介数 361冊 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、資料編に「情報を活用する」とし「情報探しの方法」「引用と著作権」を掲載している。 <p>○読書単元の設定及び書籍紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書単元「読みを深め合う」を設定して、詩と小説2作品を掲載し、関連して「ブッククラブ」などの読書活動を示している。資料編の前に「読書の広場」として古典作品を掲載している。 ・書籍紹介は、学習の手引き中の「私の本棚」「私の読書体験」、「資料編」の「小さな図書館」を掲載している。 ・書籍紹介数 285冊 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、「メディアと表現」教材「学びナビ」の中で、学習を踏まえた解説を加え、情報の扱い方を説明している。著作権は2学年のみ扱っている。 <p>○読書単元の設定及び書籍紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書単元「読書への招待」2回を設定して2作品を掲載し、学習の手引きにポップづくりなど読書活動を示している。巻末「言葉の自習室」に全学年で古典を含む4作品を掲載している。 ・書籍紹介は、学習の手引き中の「読んでみよう」「広がる本の世界」、資料編の「各学年のための読書案内」を掲載している。 ・作品解説。 ・書籍紹介数 274冊 	<p>報整理の方法として、『情報処理のレッスン』一覧」、情報と情報の関係を『思考のレッスン』一覧」として掲載している。著作権は1・3学年で扱っている。</p> <p>○読書単元の設定及び書籍紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書単元「読書生活を豊かに」「読書に親しむ」を設定し2作品を掲載。読んだ本の紹介などの読書活動を示している。資料編では1・2学年2作品、3学年4作品。「読書記録をつける」などの読書活動に係る教材がある。 ・書籍紹介は、読書単元末の「本の世界を広げよう」、筆者紹介の脚注の「広がる読書」、「読書生活を豊かに」「読書に親しむ」中の「続きはこちら」を掲載している。 ・書籍紹介数 277冊
主体的に 学習に 取り組む	<p>1 問題解決的な学習を実施するための工夫（1学年「書く」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「調べて分かったことを伝えよう『食文化』のレポート」では、 	<p>1 問題解決的な学習を実施するための工夫（1学年「書く」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート「調べたことを整理してわかりやすくまとめる」では、 	<p>1 問題解決的な学習を実施するための工夫（1学年「書く」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「材料を整理して案内文を書く」では、題材を決め、必要な情報 	<p>1 問題解決的な学習を実施するための工夫（1学年「書く」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「根拠を示して説明しよう 資料

発行者 観点	2 東 書	15 三省堂	17 教 出	38 光 村
工夫	<p>「食文化」について個人テーマを決め、情報をカードに記録して整理した後、調べてわかったことをレポートに書く活動を取り上げている。</p> <p>2 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」を扱うページを上下2段に分け、上段に学習の流れ、下段に具体的な例を示している。 ・完成例や途中段階の例、対話例が示されている。 ・「観察・分析して論じよう『ポスター』の批評文」では、参考資料（広報誌）、批評の対象例（ポスター数3）、観察・分析のメモ例、批評文の完成例（数2）、問題（新聞記事、ポスター数3）が示されている。 	<p>課題を身近なもの等から決め、情報カードに記録して整理した後、レポートの形式で書く活動を取り上げている。</p> <p>2 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の多様な方法の説明が最初に示してある。 ・学習に必要な力が、「思考の方法」や「語彙を豊かに」で示されている。 ・完成例や途中段階の例が示されている。 ・「批評文 観察・分析をとおして評価する」では、思考の方法例、批評文の例が示されている。 	<p>を集め、整理した後、相手や目的を意識しながら案内文を書く活動を取り上げている。</p> <p>2 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びナビ」「学習活動」「完成例」を各1ページで構成している。 ・「学習ナビ」は上段で示した情報を整理する手順を下段で図解している。 ・「学習活動」は上段に学習の流れ、下段に学習のヒントを示している。 ・「説得力のある批評文を書く」では、批評の対象例（ポスター 数2）、批評文の完成例（スマートフォン）が示されている。 	<p>を引用してレポートを書く」では、中学生の生活から課題を決め、実態調査やアンケート等の結果を整理した後、課題に関連する資料を引用しながらレポートを書く活動を取り上げている。</p> <p>2 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」を扱うページを上下2段にわけ、上段に学習の流れ、下段に具体的な例を示している。 ・見開き1ページで学習の流れの一覧を示し、「生かす」では、関連する既習事項を、「つなぐ」では、日常生活、学校生活、将来の3つの視点で生かせる場の具体的な例を示している。 ・「多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く」では、題材の例（広告）、分析例、批評文の例が示されている。

発行者 観点	2 東 書	1 5 三省堂	1 7 教 出	3 8 光 村
内容の構成・配列・分量	<p>1 単元・教材等の配列</p> <p>○構成、配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本編」、「基礎編」、「資料編」の3部構成。 ・年間7単元。各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「知識及び技能」の内『言葉の特徴や使い方に関する事項』『情報の扱い方に関する事項』『我が国の言語文化に関する事項』の各領域を関連させたもので構成している。 ・古典教材は、全学年、第5単元に配列している。 <p>○分量 (領域ごとの3年間のページ数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」 45 「書くこと」 71 「読むこと」 246 「伝統的な言語文化」 70 「言葉の特徴やきまり・情報の 	<p>1 単元・教材等の配列</p> <p>○構成、配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本編」と「資料編」の2部構成。 ・1・2学年9単元、3学年8単元。各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「知識及び技能」の内『言葉の特徴や使い方に関する事項』『情報の扱い方に関する事項』『我が国の言語文化に関する事項』の各領域を関連させたもので構成している。 ・古典教材は、全学年、第5単元に配列している。 <p>○分量 (領域ごとの3年間のページ数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」 45 「書くこと」 71 「読むこと」 318 「伝統的な言語文化」 79 「言葉の特徴やきまり・情報の 	<p>1 単元・教材等の配列</p> <p>○構成、配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本編と巻末付録の2部構成。 ・1・2学年9単元、3学年8単元。各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「知識及び技能」の内『言葉の特徴や使い方に関する事項』『情報の扱い方に関する事項』『我が国の言語文化に関する事項』の各領域を関連させたもので構成している。また、SDGsを国語科の視点で教材化した教材「持続可能な未来を創るために」を新設している。 ・古典教材は、全学年、第5単元に配列している。 <p>○分量 (領域ごとの3年間のページ数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」 46 「書くこと」 49 「読むこと」 404 「伝統的な言語文化」 76 「言葉の特徴やきまり・情報の 	<p>1 単元・教材等の配列</p> <p>○構成、配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本編と巻末資料の2部構成。 ・年間8単元。各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「知識及び技能」の内『言葉の特徴や使い方に関する事項』『情報の扱い方に関する事項』『我が国の言語文化に関する事項』の各領域を関連させたもので構成している。 ・古典教材は、全学年、第6単元に配列している。 <p>○分量 (領域ごとの3年間のページ数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」 46 「書くこと」 55 「読むこと」 265 「伝統的な言語文化」 83 「言葉の特徴やきまり・情報の

発行者 観点	2 東 書	1 5 三省堂	1 7 教 出	3 8 光 村
	<p>扱い方・漢字・読書」 316</p> <p>○ 発展的な学習の示し方</p> <p>・「資料編」に読み比べたり読み広げたりできる教材や、古典により親しむための教材を掲載している。</p>	<p>扱い方・漢字・読書」 231</p> <p>○ 発展的な学習の示し方</p> <p>・「読書の広場」に読み比べたり読み広げたりできる教材や、「資料編」に、古典により親しむための教材等を掲載している。</p>	<p>扱い方・漢字・読書」 240</p> <p>○ 発展的な学習の示し方</p> <p>・「巻末付録」に読み比べたり読み広げたりできる教材や、古典により親しむための教材を掲載している。</p>	<p>扱い方・漢字・読書」 232</p> <p>○ 発展的な学習の示し方</p> <p>・「巻末資料」に読み比べたり読み広げたりできる教材や、古典により親しむための教材を掲載している。</p>
<p>内容の 表現・表記</p>	<p>1 本文記述と関連付けがなされた図表等 (1 学年説明的な文章)</p> <p>・ 3 教材 19 ページ。</p> <p>・ 図表等は、 絵 (4 点)、 写真 (1 点)、 グラフ (2 点) の 3 種類 7 点。</p> <p>2 巻末資料の示し方 (第 2 学年)</p> <p>・「基礎編」「資料編」として全学年に示している。</p> <p>・「学びを支える言葉の力」では、言葉の力を「論理的な言葉の力」「文学的な言葉の力」「対話的な言葉の力」の 3 項目 6 種類に分</p>	<p>1 本文記述と関連付けがなされた図表等 (1 学年説明的な文章)</p> <p>・ 3 教材 18 ページ。</p> <p>・ 図表等は 絵 (5 点)、 写真 (1 点)、 グラフ (2 点) の 3 種類 8 点。</p> <p>2 巻末資料の示し方 (第 2 学年)</p> <p>・「文法のまとめ」「読書の広場」「資料編」として全学年に示している。</p> <p>・「読書の広場」では読み物教材が 5 編、29 ページで掲載している。「社会生活に生かす」では、メ</p>	<p>1 本文記述と関連付けがなされた図表等 (1 学年説明的な文章)</p> <p>・ 4 教材 28 ページ。</p> <p>・ 図表等は 絵 (2 点)、 写真 (15 点)、 図 (4 点) の 3 種類 21 点。</p> <p>2 巻末資料の示し方 (第 2 学年)</p> <p>・「言葉と文法 (解説編)」「漢字」「言葉の自習室」として全学年に示している。</p> <p>・「学習に必要な用語 (索引)」が 2 ページある。また、「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言</p>	<p>1 本文記述と関連付けがなされた図表等 (1 学年説明的な文章)</p> <p>・ 5 教材 28 ページ。</p> <p>・ 図表等は、 写真 (6 点)、 図 (10 点)、 グラフ (5 点)、 表 (1 点) の 4 種類 22 点。</p> <p>2 巻末資料の示し方 (第 2 学年)</p> <p>・「文法・漢字・振り返り」「学習を広げる」として全学年に示している。</p> <p>・学習の窓として「文学的な文章を読むために」や「思考のレッスン」、「情報整理のレッスン」</p>

発行者 観点	2 東 書	1 5 三省堂	1 7 教 出	3 8 光 村
	<p>類し、学年に応じて系統的に 24 ページと折込 4 ページで示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 112。 	<p>モノの取り方など生活で使う具体例を 10 ページ示している。「学習用語辞典」として 6 ページ掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページ数 128。 	<p>「葉」は、折込 4 ページある。読書は 4 編 12 ページとなっている。また、「近代文学史年表」を 3 ページで示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 84。 	<p>など基本的な学習用語がまとめられている。(7 + 折込 4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 98。
<p>言語活動の 充実</p>	<p>1 考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年「話すこと・聞くこと」が 3 単元ずつ設定してあり、全学年「聞く」「話す」「話し合う」の順番で構成されている。 ・1 学年「話し合いで理解を深めよう『グループディスカッション』」では、身の回りの良さについてグループで出し合い分類することを通して共通の良さを見つけ、お互いの発言を結びつけ、グループの考えを適切な一言に 	<p>1 考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年「話すこと・聞くこと」が 3 単元ずつ設定してあり、全学年 1 単元目は「グループディスカッション」を設定している。 ・全学年、情報教材「複数の情報を関連づけて考えをまとめる」を設定し、テーマは全て別。 ・全学年「読書活動」で本に関して自分の考えを伝える活動を掲載している。 ・各学年の第 1 単元にグループディスカッションを設定している。1 学年「グループディスカッション『話題や展開にそって話し合いをつなげる』」では、「話し合いのこつ」を意識してグループで話し合ったり観察し合っ 	<p>1 考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」を 1 学年 4 単元、2・3 学年 5 単元設定してある。 ・全学年「持続可能な未来を創るために」という「書く」と「読む」の複合単元を設定し、考えるテーマを学年毎に変えている。 ・各単元に「ここが大事」とポイントを掲載している。 ・1 学年「発言を結びつけて話し合う」では、話題を意識し、他者の意見と結びつけた発言をし、総括しながら話し合っていく学習活動が取り上げられている。 	<p>1 考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年「話すこと・聞くこと」が 6 単元ずつ設定してある。 ・全学年、最後の単元は「〇〇を振り返ろう」として「書く」と「読む」の複合単元を設定している。 ・「学習の窓」で学習を通して身に付ける力のポイントを箇条書きで示している。 ・1 学年「話題や展開を捉えて話し合おう グループディスカッションをする」では、話題を決め、自分の考えを付箋に書き根拠を考え、司会と書記を決めた後、模造紙や付箋を使って意見

発行者 観点	2 東 書	1 5 三省堂	1 7 教 出	3 8 光 村
	<p>まとめる活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料編に「話すこと・書くこと 題材例」や「発想・整理の方法」の解説がある。 	<p>たりし、効果的だった「話し合いのこつ」について話し合いを振り返る学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料編で、思考の方法について図を使って解説している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「言葉の自習室」で、アイデアの出し方、レポートの書き方などを説明している。 	<p>をまとめて全体で発表する活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料編で、表現活動のテーマ例や情報整理の方法などを解説している。